

男女共同参画行動計画白山21（改定版）の平成25年度事業実施状況について（概要）

【主な取り組み事業】

基本目標Ⅰ 家庭・職場・地域において男女が共に個性と能力を発揮できる社会の実現

家庭における意識の見直しのため、子育て世代を対象としたおやこで楽しむ男女共同参画セミナーの開催や、男女対象の料理教室、キッズ☆キッチン、子育て講座等を開催し、市民に啓発しました。また子育て支援の充実のため、体調不良児対応型保育所をこれまでの9か所から11か所へ増設し、更にニーズにあわせた保育サービスを実施しました。

介護を支える環境の充実としては、総合相談専属の相談員が配置されました。医療機関との連携が進み、白山市在宅医療連携協議会が設立されました。また、制度の啓発を、まちかど市民講座等で行いました。

雇用の場においては、家族経営協定を結ぶ農家は1軒でした。

防災に関する女性リーダーの育成として、自主防災組織リーダー（防災士）養成講座を開催し、5人の女性が受講しました。（総数189名うち女性21人）

基本目標Ⅱ 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革

意識づくりのため、職員研修、相談員研修を行い、松任中学校三年生による討論会の開催や、男女共同参画展・川柳展の開催、また川柳展については、市内7か所成人式会場でも実施しました。

昨年度、男女共同参画都市宣言を行ったことを周知するため、宣言都市懸垂幕の設置及び市役所1階ロビーに宣言文を掲示しました。

意識調査のアンケートを相談員研修会、人権映画会、出前講座で行いました。

男女共同参画の視点からの刊行物ガイドラインを作成しました。

基本目標Ⅲ 方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大

市審議会等の女性委員登用率、数値目標40%を目指し、人材発掘のため女性人材リスト登録事業を継続して実施しました。登録者数が13人から18人に増加し、登録者研修会を実施しました。

また、市の入札の際、女性技術者の雇用にあたり主観的事項審査基準に基づき加点を実施しました。

市における女性職員の登用においても、次長級・課長級への登用、また監督職への昇任と職域の拡大が積極的に行われ、女性専門員も拡充されました。

県主催の「いしかわ女性のチャレンジ賞」には、市内のナカレレママーズ、美川商工会女性部の2団体が受賞しました。

基本目標Ⅳ 男女の人権の尊重

社会問題となっているDV被害者を支援するため、7月にDV被害者支援庁内連絡会を設置いたしました。連絡会、幹事会を重ね、1月にDVマニュアルを作成しました。

また、男女共同参画室の女性相談員の継続雇用を行いました。DV専用電話「DVホットライン白山」の周知・啓発の強化（274-9530（キュウゴサレたい））のため啓発カード・シールを市内58の医療機関へ配布しました。